



宝塚市立良元小学校 学校通信

良元通信

家庭数
配布

令和7年(2025)1月17日号

校長 狩野 洋光

平成7年(1995年)1月17日 AM5:46 ～ 阪神淡路大震災

今日は、大震災からちょうど30年になります。兵庫県内で、6000人以上の尊い命が失われました。宝塚市も大きな被害を受け、地域の学校や公民館が避難所となりました。電気、ガス、水道といったライフラインの復旧に、時間がかかったことを覚えています。保護者の方のなかには、震災を経験された方もいらっしゃるでしょう。震災の経験を語り継ぐことは、次の世代への大きなメッセージとなります。

子どもたちに伝えたいことは何でしょうか。亡くなった方への鎮魂の気持ち、不便な生活、災害に備えること、必死に生きたこと、大切な話ばかりです。なかでも非常時の中、人間らしくあったこと、助け合い、励まし合ったことを伝えていくことは、大変意味のあることだと思います。

今日は、子どもたちが自分の命を守る行動について考えることができるように避難訓練を行います。お家でも、もしもの時の行動について、話し合われてはいかがでしょうか。



1995.3.23 良元小学校 卒業式は、運動場で行われました

震災のお話を聞こう・・・4年生



地域の方から、震災当時のようすを聞かせていただきました。4年生は、熱心にメモを取りながら話を聞いていました。教室にもどってから、教えていただいたことをお互いに伝え合い、交流しました。

学校運営協議会 ～ これからの良元小学校を考える

先日、学校運営協議会を行いました。委員の皆さんと、子ども・保護者・教員、それぞれの課題について考え、意見を出し合いました。

○中学校で困らないように、他校と関わる活動はどうか。良元小の子どもたちの「ほんわか」した感じは、いいところだけど、今後のことを考え「厳しさ」も大事では？

○子どもたちが年々、幼く感じる。世の中全体なのかな。

○先生に相談したいが、忙しそう。「そんなことぐらいで」と思われたらどうしよう。

○親も不安。どこに相談したらよいか分からない。

○SNSトラブルは、家庭で取り組むこと。学校でも指導はしていくが・・・。

○先生の「あかんことはあかん」と教えることも大事。

○子どもを信じることは大事。でも、子どもの話すことを真に受けてしまうのは違う。

ほかにも、たくさんの意見が出ました。最後は、子どもも大人も「他人との関わり方」が大切なのではと、まとまりました。